

平成22年度 行財政再生シート

NO. 16

項目名	市遺族連合会	事業名	市遺族連合会補助事業
担当部	福祉部	担当課等	福祉課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **35** 円 です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	戦没者の追悼慰霊及び戦没者遺族の組織的な活動促進のため。			
(2) 事業の概要	常滑市遺族連合会への事業に対する補助 本年の主な事業 (常滑市遺族連合会の下部組織である地区慰霊祭、市遺族会総会等主催事業等開催、国・県・県遺族連合会による英霊の慰霊、追悼事業への参加)			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
		2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	
	○	3. 団体等への補助金により実施	実施主体	市遺族連合会
		4. その他 ()		
(4) 実施期間など	開始年度	終了予定年度	予定なし	-
(5) 根拠法令など	なし			
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	周辺では、半田市会員数 0人(事業費 0千円)、東海市会員数 417人(戦没者追悼式開催費1,380千円 社会福祉団体活動費776千円 事業費計2,156千円)、大府市会員数374人(事業費350千円)、知多市会員数 470人(事業費400千円)、阿久比町会員数 136人(事業費478千円)、東浦町会員数264人(事業費312千円)、南知多町会員数390人(事業費1,025千円)内慰霊祭763千円)、美浜町会員数 517人(事業費55千円)、武豊町会員数 193人(事業費604千円)			

2. 事業費の推移

(千円)

		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	1,918	1,918	1,726	1,555	
	人件費※	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
		再任	400	400	400	345
		臨時	0	0	0	0
		臨時	0	0	0	0
	支出計	2,318	2,318	2,126	1,900	
財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	2,318	2,318	2,126	1,900	
市民1人あたり(円)★	42	42	39	35		
投資事業費	全体事業費		~H22未見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22未見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員 : H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円
 ・再任用職員 : H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円
 ・臨時職員 : H19~H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	<p>○遺族大会・役員会の開催 遺族大会（5月）・役員会（8回）</p> <p>○英霊の慰霊に関する事業 ・各地区の慰霊祭（6箇所） ・千鳥ヶ淵墓園始め12箇所へ参拝、参加。（延べ680名） ・その他、国、県及び遺族連合会の主催する英霊に関する事業に積極的に参加した。</p>	<p>○遺族大会・役員会の開催 遺族大会（5月）・役員会（8回）</p> <p>○英霊の慰霊に関する事業 ・各地区の慰霊祭（6箇所） ・千鳥ヶ淵墓園始め13箇所へ参拝、参加。（延べ648名） ・その他、国、県及び遺族連合会の主催する英霊に関する事業に積極的に参加した。</p>	<p>○遺族大会・役員会の開催 遺族大会（5月）・役員会（8回）</p> <p>○英霊の慰霊に関する事業 ・各地区の慰霊祭（6箇所） ・千鳥ヶ淵墓園始め14箇所へ参拝、参加。（延べ683名） ・その他、国、県及び遺族連合会の主催する英霊に関する事業に積極的に参加した。</p>	<p>○遺族大会（年1回）、役員会の開催（随時）</p> <p>○英霊の慰霊に関する事業</p> <p>○遺族の処遇改善と福祉の増進に関する事業</p> <p>○遺族の相互協力及び研修に関する事業</p> <p>○組織の強化に関する事業等</p>
成果・効果	<p>常滑市遺族連合会に補助金を交付し、戦没者の遺族に対し援護することで、地区慰霊祭、市遺族会総会等の開催を支援し、国・県・県遺族連合会による英霊の慰霊、追悼事業への参加の促進を図ることができた。</p>			

4. 事業の必要性

必要性	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	類似(代替)事業が存在しない
	2	実施目的が未達成である	政策・施策の中で優先度が高い	受益者が多く市民ニーズが高い
		市以外では実施不可能である	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
	廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響	<p>本事業を廃止した場合、代わる団体がなく会員も高齢化し減少しているため、戦没者の英霊に対する慰霊、追悼、慰霊祭の開催等の活動が低下する恐れがある。</p>		
想定される代替事業	○	なし		-
	市既存事業の活用	市（担当課）		
		既存の事業		
	民間事業の活用	想定事業主体		
代替事業				

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<p>市遺族連合会の活動は、英霊の顕彰と慰霊とともに遺族の方々の福祉増進に努めてきた。毎年、数多くの英霊に関する事業に参加・参拝を実施しているが、例年、8月15日の終戦記念日に「英霊の日慰霊祭」を実施してきたが、平成20年度に廃止し、運営のスリム化を図った。</p>
